

TOWN わたらせ

第725号 2017年 7月29日 (毎週土曜日発行) 無料配布

最終回は大切な歯を守りたい！ 失いたくない！ と思っっている万のために、歯を守る治療を受けるためのポイントについてお話します。

まずは歯医者さんに「私は出来るだけ歯を削りたくない。自分の歯を守りたい」とご自分の意志をしっかり伝えてください。最近はいんフォームドコンセントといって、治療を開始する前にきちんと治療の内容を説明してくれる歯科医院が増えています。治療に対する希望を聞いてもらいたうえで、現在のお口の中の状態をレントゲンや口腔内写真（患者さん自身の歯の写真）などで教えてもらい、唾液の分泌量、唾液が口の中を健康に保つ力、虫歯菌の検査、顕微鏡による歯周病菌検査、口臭検査などでご自分の虫歯、歯周病のリスクを科学に基づいて調べてもらうといいでしょう。虫歯菌や歯周病菌を増殖させて歯を失う原因を作る大きな要素に食事がありま

すので、飲み物や食事内容についての改善点を指摘してもらうことも大切です。虫歯菌や歯周病菌は歯肉の粘膜から直接血管の中に入りこんで全身に回ります。虫歯菌や歯周病菌は血管の内壁で慢性炎



日々、つれづれ essay エッセー

「その虫歯、削らないで!!」④

石井 和浩 (歯科医院院長)

まな不定愁訴で悩んでおり、薬では症状に改善が見られなかったのに、それらの症状と歯周炎との関連を歯科医院で指摘され、歯周病治療を受けたところ全身症状がすっかり改善。ご自身が歯周病菌による慢性炎症の恐ろしさを体験したことから、それ以降、患者さんに歯周病治療を受けてもらい、内科的な疾患の改善に目を見張っているという実話もあります。

自分の歯でしっかりと、かんで食べられる人と、歯を失った人では、生涯にかかる医療が1000万円以上違うという統計もあります。歯を削ると何が起るのか、虫歯菌や歯周病菌による慢性炎症と全身の関係など詳しく知りたいと思う方は「名医は虫歯を削らない」竹書房 小峰一雄著（ドックベスト治療を日本に広めたスーパードクター）を参考にしてください。近隣の削らない治療を行う医院が本の中で紹介されています。